

5年2組みんなで人文字を作ろう

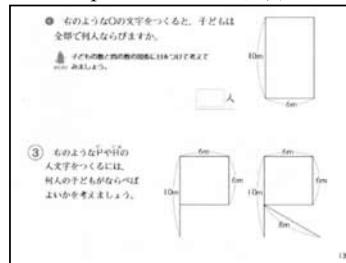
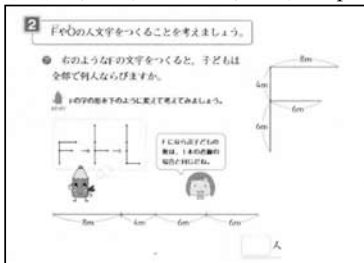
単 元	人文字	対象学年	5 年
ね ら い	一定の間隔で並んだ人の人数と間の数の関係に目をつけて問題を解くことができるようにする。		

1 準備するもの

教師：ワークシート、巻尺、カメラ

2 学習のしかた

(1) 教科書(啓林館5年 p134～p135)の学習をする。



(2) 学習をもとに作りたい人文字を考え、必要な人数を求める。

(3) 実際に人文字を作る。

3 学習上の留意点

- ・直線で表せる言葉(カタカナやデジタルの数字)を選ぶようにする。また、その際に実際にどう見えるのか3人～5人で並んだ直線の写真を見せる。
- ・ドット方眼紙を用いて作りたい人文字を考える。「・」が人で線を結ばせる。
- ・求め方を個人やグループで考えて、言葉や大きさ、人数の発表をする。
- ・既習の『一直線にして、間の数+1=子どもの数』を使う場合と、重なりがあるとき、『間の数=子どもの数』の二つの場合があることを復習する。
- ・人文字を作った後、並び替えて1本の直線にし、子どもの数と間の数を捉えることで、問題解決できるように促し、この思考法の面白さを感じ取らせる。

4 学習の効果

みんなで記念に残るものを作ろうと、言葉を考える。行事の知らせや学級訓など必要な時期に応じて行くと意欲が高まることが予想される。間の数は頭で理解することが容易だが、実際に行うことでより理解が深まる。実際に言葉選びや間隔など、児童だけでは難しい場面もあるので、支援が必要である。巻尺をもって1メートル間隔で並ぶ際に0を先頭の子が持つことで2人で初めて間が生まれることを全員で見て、間の数+1=子どもの数であることを確認することができる。また、間の数=子どもの数となるときも最初と最後が同じ子が持つことからこちらも再認識できる。